

# 1 報告の概要

## （1）報告の目的

本報告は、本年10月1日より開始される病床機能報告制度に基づき、一般病床・療養病床を有する医療機関から、「病棟単位」を基本として当該病床において担っている医療機能の現状と今後の方向、具体的な報告事項をあわせてご報告いただき、都道府県による地域医療構想の策定、厚生労働省による地域医療構想策定のためのガイドライン作成等に資する資料を得ることを目的としております。

## （2）一般病床・療養病床を有する病院における報告の内容

一般病床・療養病床を有する病院の報告様式は、「①基本項目」、「②施設票」、「③病棟票」で構成されています。各項目の報告内容は、以下のとおりです。すべてご記入のうえ、すべてご提出ください（シートが分かれていますのでご注意ください）。

### ①基本項目：

- 貴院の地方厚生（支）局長に届け出た保険医療機関名称や、事前に送付する案内文書に記載されている医療機関ID、都道府県番号・医療機関コード、医療機関住所、本報告のご担当者についてご記入いただきます。
- 本項目の記載は、施設管理者および事務部門の担当者とします。

### ②施設票：

- 施設全般に関する職員数や基本情報、看取りや救急医療の実施状況、医療機器の台数、退院調整部門の設置状況等をご記入いただきます。
- 本項目の記載は、施設管理者および事務部門の担当者とします。

### ③病棟票：

- 一般病床・療養病床を有する病棟の基本情報や職員数、入退院患者の状況、具体的な医療の内容等をご記入いただきます。
- 本病棟票における「病棟」の単位は、原則、病院である保険医療機関の各病棟における看護体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします（「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」（平成26年3月5日保医発0305第1号）に則る）。ただし、特定入院料を算定する治療室・病室については、当該施設基準の要件を満たす体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。

① 基本項目

1. 貴院名						
2. ID(通知記載の7桁コード)						
3. 都道府県番号・医療機関コード		都道府県番号		医療機関コード		
			-			
4. 医療機関住所		〒		-		
5. 報告担当者	氏名					
	部署名					
	連絡先	電話番号	市外番		-	
		FAX番号	市外番		-	
e-mail					@	



既に休・廃止している場合、あるいは無床診療所へ移行している場合は、下のチェックボックスにチェックを入れて、その実施年月を入力してください。また、これまで一般病床・療養病床を有しておらず、報告対象外の場合は、下のチェックボックスにチェックを入れてください。以後は未回答のままご返送ください。

休・廃止	<input type="checkbox"/>	}	→	実施年月	西暦		年		月	
無床診療所へ移行	<input type="checkbox"/>									
報告対象外	<input type="checkbox"/>									



◎「具体的な医療の内容に関する項目」の報告は、既存のレセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の枠組みを活用して、病床機能報告制度に必要な医療の内容に関する項目について、貴院分の集計を行ったデータを平成26年11月21日から12月12日までの期間に貴院においてご確認いただくことでおこないます。

ご確認にあたって、NDBの枠組みを活用して集計したデータについて、電子メールでの送付をご希望される場合には、下のチェックボックスにチェックを入れてください。

具体的な医療内容に関する項目について、電子メールによる送付をご希望	<input type="checkbox"/>
-----------------------------------	--------------------------

※紙のレセプトによる診療報酬請求をおこなっている対象医療機関は、報告マニュアルに記載のとおり、厚生労働省「平成26年度病床機能報告」事務局の「紙媒体提出希望窓口」までご連絡のうえ、本項目に係る紙の様式を入手してください。ご回答は可能な範囲で構いません。ご記入いただいた様式は平成26年11月14日(金)までに簡易書留等により事務局あて郵送してください。

6. 病棟名【貴院の全ての入院病棟の名称を入力してください。】

※各病棟における看護体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。特定入院料を算定する治療室・病室については、当該施設基準の要件を満たす体制の1単位をもって病棟として取り扱うものとします。

※同じ病棟名の病棟が存在する場合、病棟名に連番を付して区別してください。

病棟名 No.1	
病棟名 No.2	
病棟名 No.3	
病棟名 No.4	
病棟名 No.5	
病棟名 No.6	
病棟名 No.7	
病棟名 No.8	

病棟名 No.9	
病棟名 No.10	
病棟名 No.11	
病棟名 No.12	
病棟名 No.13	
病棟名 No.14	
病棟名 No.15	
病棟名 No.16	
病棟名 No.17	
病棟名 No.18	
病棟名 No.19	
病棟名 No.20	
病棟名 No.21	
病棟名 No.22	
病棟名 No.23	
病棟名 No.24	
病棟名 No.25	
病棟名 No.26	
病棟名 No.27	
病棟名 No.28	
病棟名 No.29	
病棟名 No.30	

② 施設票

病院名	
-----	--

1. 職員数【平成26年7月1日時点】

① 施設全体の職員数

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)				
(1) 看護師	0	人	0.0	人	(2) 准看護師	0	人	0.0	人
(3) 看護補助者	0	人	0.0	人	(4) 助産師	0	人	0.0	人
(5) 理学療法士	0	人	0.0	人	(6) 作業療法士	0	人	0.0	人
(7) 言語聴覚士	0	人	0.0	人	(8) 薬剤師	0	人	0.0	人
(9) 臨床工学技士	0	人	0.0	人					

② 手術室の職員数

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)				
(10) 看護師		人		人	(11) 准看護師		人		人
(12) 看護補助者		人		人	(13) 助産師		人		人
(14) 理学療法士		人		人	(15) 作業療法士		人		人
(16) 言語聴覚士		人		人	(17) 薬剤師		人		人
(18) 臨床工学技士		人		人					

③ 外来部門の職員数

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)				
(19) 看護師		人		人	(20) 准看護師		人		人
(21) 看護補助者		人		人	(22) 助産師		人		人
(23) 理学療法士		人		人	(24) 作業療法士		人		人
(25) 言語聴覚士		人		人	(26) 薬剤師		人		人
(27) 臨床工学技士		人		人					

④ その他の部門の職員数（透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、退院調整部門、医事部門、一般病床・療養病床以外の病床（ただし、一般病床・療養病床と一体となった看護単位である結核病床、感染症病床に配置されている職員数は病棟票の「病棟部門の職員数」に計上すること）等）

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)				
(28) 看護師		人		人	(29) 准看護師		人		人
(30) 看護補助者		人		人	(31) 助産師		人		人
(32) 理学療法士		人		人	(33) 作業療法士		人		人
(34) 言語聴覚士		人		人	(35) 薬剤師		人		人
(36) 臨床工学技士		人		人					

2. DPC群の種類【平成26年7月1日時点】			
1. DPC病院Ⅰ群	2. DPC病院Ⅱ群		
3. DPC病院Ⅲ群	4. DPC病院ではない	該当番号 ⇒(37)	<input type="text"/>

3. 在宅療養支援病院、在宅療養支援後方病院の届出の有無【平成26年7月1日時点】			
① 在宅療養支援病院の届出の有無	1. 有り 2. 無し	該当番号 ⇒(38)	<input type="text"/>
② 在宅療養後方支援病院の届出の有無	1. 有り 2. 無し	該当番号 ⇒(39)	<input type="text"/>

 下記4は在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院の届出をしている場合のみご記入ください。

4. 看取りを行った患者数

① 医療機関以外での看取り数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】			
直近1年間に在宅療養を担当した患者について			
(1) 医療機関以外での死亡者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(40)	<input type="text" value="0"/>	人
上記(1)のうち、自宅での死亡者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(41)	<input type="text"/>	人
上記(1)のうち、自宅以外での死亡者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(42)	<input type="text"/>	人

② 医療機関での看取り数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】			
直近1年間に在宅療養を担当した患者について			
(2) 医療機関での死亡者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(43)	<input type="text" value="0"/>	人
上記(2)のうち、連携医療機関での死亡者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(44)	<input type="text"/>	人
上記(2)のうち、連携医療機関以外での死亡者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(45)	<input type="text"/>	人

※ 介護老人保健施設等の入所施設で死亡した患者については、「医療機関以外での死亡者数」の「上記(1)のうち、自宅以外での死亡者数」欄へ計上してください。

5. 二次救急医療施設、救急告示病院の認定・告示の有無【平成26年7月1日時点】			
① 二次救急医療施設の認定の有無	1. 有り 2. 無し	該当番号 ⇒(46)	<input type="text"/>
② 救急告示病院の告示の有無	1. 有り 2. 無し	該当番号 ⇒(47)	<input type="text"/>

6. 救急医療の実施状況			
① 休日に受診した患者延べ数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(48)	<input type="text"/>	人
上記①のうち、診察後直ちに入院となった患者延べ数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(49)	<input type="text"/>	人
② 夜間に受診した患者延べ数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(50)	<input type="text"/>	人
上記②のうち、診察後直ちに入院となった患者延べ数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(51)	<input type="text"/>	人
③ 救急車の受入件数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(52)	<input type="text"/>	件

7. 医療機器の台数【平成26年7月1日時点】					
① CT	マルチスライスCT	64列以上	(53)	<input type="text"/>	台
		16列以上64列未満	(54)	<input type="text"/>	台
		16列未満	(55)	<input type="text"/>	台
	その他のCT		(56)	<input type="text"/>	台
② MRI	3テスラ以上	(57)	<input type="text"/>	台	
	1.5テスラ以上3テスラ未満	(58)	<input type="text"/>	台	
	1.5テスラ未満	(59)	<input type="text"/>	台	
③ その他の医療機器	血管連続撮影装置※	(60)	<input type="text"/>	台	
	SPECT	(61)	<input type="text"/>	台	
	PET	(62)	<input type="text"/>	台	
	PETCT	(63)	<input type="text"/>	台	
	PETMRI	(64)	<input type="text"/>	台	
	強度変調放射線治療器	(65)	<input type="text"/>	台	
	遠隔操作式密封小線源治療装置	(66)	<input type="text"/>	台	

※ デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィー法を行う装置。

8. 退院調整部門の設置状況【平成26年7月1日時点】									
① 退院調整部門の有無		1. 有り 2. 無し		該当番号 ⇒(67)	<input type="text"/>				
② 退院調整部門に勤務する職員数									
	専従 従事者の実人数	専任 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		専従 従事者の実人数	専任 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)				
(68) 医師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(69) 看護職員	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(70) MSW	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(71) 【再掲】MSW のうち、社会福祉士 の資格を有する者	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(72) 事務員	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(73) その他	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人

**未記入、もしくは記入内容の見直しが必要な欄があります。**  
**調査票の右側に表記されている内容をご確認ください。**

③ 病棟票 【病棟 No.1】

病棟名			
1. 医療機能【下記選択肢の中から該当する番号を現在の機能、将来時点の機能のそれぞれについて記入】			
1. 高度急性期機能	2. 急性期機能	① 2014（平成26）年7月1日時点の機能	該当番号⇒(1) <input type="text"/>
3. 回復期機能	4. 慢性期機能	② 6年が経過した日における病床の機能の予定	該当番号⇒(2) <input type="text"/>
		③ 2025（平成27）年7月1日時点の機能（任意）	該当番号⇒(3) <input type="text"/>



上記項目1において「②6年が経過した日における病床の機能の予定」に向けて、それ以前に変更予定がある場合は、下のチェックボックスにチェックを入れて、変更後の機能、その変更予定年月を入力してください。

6年以内に変更予定あり <input type="checkbox"/>	→	変更後の機能 ⇒ (4) <input type="text"/>	変更予定年月	西暦	<input type="text"/> 0 <input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>
--------------------------------------	---	-----------------------------------	--------	----	---	---	----------------------	---	----------------------

2. 許可病床数【平成26年7月1日時点】・稼働病床数【平成25年7月1日～平成26年6月30日】		許可病床数	稼働病床数※
① 一般病床 (5)	<input type="text"/>	床	<input type="text"/>
② 療養病床 (6)	<input type="text"/>	床	<input type="text"/>
上記②のうち、医療療養病床 (7)	<input type="text"/>	床	<input type="text"/>
③ 上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床（平成13年3月1日時点で既に開設許可を受けている一般病床であって、6.3㎡/床（1人部屋）・4.3㎡/床（その他）となっている病床数） (8)	<input type="text"/>	床	<input type="text"/>

※ 稼働病床数は、許可病床数から休床の届出をしている病床数の他、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数を除いた病床数です。

3. 一般病床・療養病床で算定する入院基本料・特定入院料および届出病床数【平成26年7月1日時点】			
1. 一般病棟7対1入院基本料	2. 一般病棟10対1入院基本料	3. 一般病棟13対1入院基本料	4. 一般病棟15対1入院基本料
5. 一般病棟特別入院基本料	6. 療養病棟入院基本料1	7. 療養病棟入院基本料2	8. 療養病棟入院基本料特別入院基本料
9. 特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	10. 特定機能病院一般病棟10対1入院基本料	11. 専門病院7対1入院基本料	12. 専門病院10対1入院基本料
13. 専門病院13対1入院基本料	14. 障害者施設等7対1入院基本料	15. 障害者施設等10対1入院基本料	16. 障害者施設等13対1入院基本料
17. 障害者施設等15対1入院基本料	18. 救命救急入院料1	19. 救命救急入院料2	20. 救命救急入院料3
21. 救命救急入院料4	22. 特定集中治療室管理料1	23. 特定集中治療室管理料2	24. 特定集中治療室管理料3
25. 特定集中治療室管理料4	26. ハイケアユニット入院医療管理料1	27. ハイケアユニット入院医療管理料2	28. 脳卒中ケアユニット入院医療管理料
29. 小児特定集中治療室管理料	30. 新生児特定集中治療室管理料1	31. 新生児特定集中治療室管理料2	32. 総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）
33. 総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	34. 新生児治療回復室入院医療管理料	35. 特殊疾患入院医療管理料	36. 小児入院医療管理料1
37. 小児入院医療管理料2	38. 小児入院医療管理料3	39. 小児入院医療管理料4	40. 回復期リハビリテーション病棟入院料1
41. 回復期リハビリテーション病棟入院料2	42. 回復期リハビリテーション病棟入院料3	43. 亜急性期入院医療管理料1	44. 亜急性期入院医療管理料2
45. 地域包括ケア病棟入院料1	46. 地域包括ケア病棟入院料2	47. 地域包括ケア入院医療管理料1	48. 地域包括ケア入院医療管理料2
49. 特殊疾患病棟入院料1	50. 特殊疾患病棟入院料2	51. 緩和ケア病棟入院料	52. 特定一般病棟入院料1
53. 特定一般病棟入院料2	54. 療養型介護療養施設サービス費（介護療養病床として使用）	55. 診療報酬上の入院料の届出なし	
(9)	該当番号（病床数は、当該入院料を算定するものとして届出を行っている病床数を記入）⇒	<input type="text"/>	⇒ <input type="text"/> 床
(10)	当該病棟において病室単位で35、39、43、44、47、48の届出を行っている場合、該当番号と上記のうち当該届出の病床数を再掲⇒	<input type="text"/>	⇒ <input type="text"/> 床
【平成26年7月1日以降、現在までに当該病棟の届出内容に変更があった場合の直近の状況】			
(11)	変更年月日	平成26年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	
(12)	変更後の該当番号（病床数は、当該入院料を算定するものとして届出を行っている病床数を記入）⇒	<input type="text"/>	⇒ <input type="text"/> 床
(13)	当該病棟において病室単位で35、39、43、44、47、48の届出を行っている場合、該当番号と上記のうち当該届出の病床数を再掲⇒	<input type="text"/>	⇒ <input type="text"/> 床

※2病棟目（平成26年7月1日時点の1病棟単位が平成26年7月1日以降に複数の病棟単位となる場合）

(14)	変更後の該当番号（病床数は、当該入院料を算定するものとして届出を行っている病床数を記入）⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>	床
(15)	当該病棟において病室単位で35、39、43、44、47、48の届出を行っている場合、該当番号と上記のうち当該届出の病床数を再掲⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>	床

※3病棟目（平成26年7月1日時点の1病棟単位が平成26年7月1日以降に複数の病棟単位となる場合）

(16)	変更後の該当番号（病床数は、当該入院料を算定するものとして届出を行っている病床数を記入）⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>	床
(17)	当該病棟において病室単位で35、39、43、44、47、48の届出を行っている場合、該当番号と上記のうち当該届出の病床数を再掲⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>	床

4. 病棟部門の職員数【平成26年7月1日時点】

	常勤 従事者の実人数	人	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)	人		常勤 従事者の実人数	人	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)	人
(18) 看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(19) 准看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(20) 看護補助者	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(21) 助産師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(22) 理学療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(23) 作業療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(24) 言語聴覚士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(25) 薬剤師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(26) 臨床工学技士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人					

5. 主とする診療科【平成26年7月1日時点】

- |                 |                |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 内科           | 2. 呼吸器内科       | 3. 循環器内科       | 4. 消化器内科（胃腸内科） |
| 5. 腎臓内科         | 6. 神経内科        | 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 8. 血液内科        |
| 9. 皮膚科          | 10. アレルギー科     | 11. リウマチ科      | 12. 感染症内科      |
| 13. 小児科         | 14. 精神科        | 15. 心療内科       | 16. 外科         |
| 17. 呼吸器外科       | 18. 心臓血管外科     | 19. 乳腺外科       | 20. 気管食道外科     |
| 21. 消化器外科（胃腸外科） | 22. 泌尿器科       | 23. 肛門外科       | 24. 脳神経外科      |
| 25. 整形外科        | 26. 形成外科       | 27. 美容外科       | 28. 眼科         |
| 29. 耳鼻咽喉科       | 30. 小児外科       | 31. 産婦人科       | 32. 産科         |
| 33. 婦人科         | 34. リハビリテーション科 | 35. 放射線科       | 36. 麻酔科        |
| 37. 病理診断科       | 38. 臨床検査科      | 39. 救急科        | 40. 歯科         |
| 41. 矯正歯科        | 42. 小児歯科       | 43. 歯科口腔外科     | 45. 複数の診療科で活用  |

(27) 該当番号 ⇒  「45」を選択した場合の上位3つまで ⇒

6. 入院患者数の状況【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】

① 新規入棟患者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(28)	<input type="text" value="0"/>	人
上記①のうち、予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者	(29)	<input type="text"/>	人
上記①のうち、救急医療入院の予定外入院の患者	(30)	<input type="text"/>	人
上記①のうち、救急医療入院以外の予定外入院の患者	(31)	<input type="text"/>	人
② 在棟患者延べ数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(32)	<input type="text"/>	人
③ 退棟患者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(33)	<input type="text"/>	人

7. 入棟前の場所・退棟先の場所別の入院患者の状況【平成26年6月の1か月間】			
① 新規入棟患者数【平成26年6月の1か月間】		(34)	0 人
入棟前の場所	上記①のうち、院内の他病棟からの転棟	(35)	
	上記①のうち、家庭からの入院	(36)	
	上記①のうち、他の病院、診療所からの転院	(37)	
	上記①のうち、介護施設・福祉施設からの入院	(38)	
	上記①のうち、院内の出生	(39)	
	上記①のうち、その他	(40)	
② 退棟患者数【平成26年6月の1か月間】		(41)	0 人
退棟先の場所	上記②のうち、院内の他病棟へ転棟	(42)	
	上記②のうち、家庭へ退院	(43)	
	上記②のうち、他の病院、診療所へ転院	(44)	
	上記②のうち、介護老人保健施設に入所	(45)	
	上記②のうち、介護老人福祉施設に入所	(46)	
	上記②のうち、社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	(47)	
	上記②のうち、終了（死亡退院等）	(48)	
	上記②のうち、その他	(49)	

8. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況【平成26年6月の1か月間】			
① 当該病棟から退院した患者数【平成26年6月の1か月間】		(50)	0 人
上記①のうち、退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者		(51)	
上記①のうち、退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者		(52)	
上記①のうち、退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者（死亡退院を含む）		(53)	
上記①のうち、退院後1か月以内の在宅医療の実施予定が不明の患者		(54)	
9. 分娩件数（正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く）【平成26年6月の1か月間】		(55)	

 下記10は一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を測定することが算定の要件となっている入院基本料（注加算含む）・特定入院料・入院基本料等加算の届出をおこなっている場合のみご回答ください。

10. 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者の割合【平成26年6月の1か月間】			
① 平成26年6月の1か月間の評価に用いた評価票の種類	1. 新項目の評価票		
	2. 経過措置期間であるため、旧項目の評価票	該当番号 ⇒(56)	
② A得点が2点以上かつB得点が3点以上の患者割合（小数点第2位を四捨五入）	(57)		%
③ A得点が2点以上の患者割合（小数点第2位を四捨五入）	(58)		%
④ B得点が3点以上の患者割合（小数点第2位を四捨五入）	(59)		%

 下記11は回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟のみ必須でご回答ください。それ以外の病棟においては任意でご回答ください。

11. リハビリテーションの状況			
① リハビリテーションを要する状態にある患者の割合【平成26年6月の1か月間】※1	(60)	<input type="text"/>	%
② 平均リハ単位数（1患者1日当たり）【平成26年6月の1ヵ月間の平均】※1	(61)	<input type="text"/>	単位
③ 過去1年間の総退棟患者数【平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間】	(62)	<input type="text"/>	人
上記③のうち、入院時の日常生活機能評価が10点以上であった患者数	(63)	<input type="text"/>	人
上記③のうち、退棟時（転棟時を含む。）の日常生活機能評価が、入院時に比較して4点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料2または3の場合には3点以上）改善していた患者数	(64)	<input type="text"/>	人

※1. ①及び②は小数点第2位を四捨五入してご回答ください。



本病棟票の報告内容について、貴院で平成25年7月1日～平成26年6月30日の期間内に病棟の再編・見直しをおこなったことで、過去1年間分の状況を平成26年7月1日時点の病棟単位で報告することが困難な場合は、下のチェックボックスにチェックを入れて、平成26年7月1日時点の病棟単位で報告可能な過去の期間をご記入ください。  
本病棟票における「平成25年7月1日～平成26年6月30日の1年間」の状況を報告する項目では、ご記入の対象期間における状況についてご記入ください。

平成25年7月1日～平成26年6月30日の  
期間内に病棟の再編・見直しあり

報告可能な  
対象期間

平成

年

月

日

～

平成

2

6

年

0

6

月

3

0

日

その他、ご報告あたっての特記事項【自由記入欄】

厚生労働省 中央社会保険医療協議会 入院医療等の調査・評価分科会 平成 26 年度調査  
**入院医療等における実態調査**  
**病棟調査票 (A票)**

- 特に指定がある場合を除いて、平成 26 年 11 月 5 日(水) 現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する方・施設等が無い場合は、「0」(ゼロ)をご記入下さい。

■本調査票のご記入者、ご連絡先についてご記入下さい。

施設 ID		病棟 ID	
-------	--	-------	--

**問 1 貴病棟の診療科目、入院基本料等についてお伺いします。**

<b>1 診療科目</b> <small>(最も近似する診療科を主なもの3つまで○)</small>	<b>01</b> 内科	<b>07</b> 形成外科	<b>13</b> 放射線科
	<b>02</b> 小児科	<b>08</b> 産婦人科	<b>14</b> リハビリテーション科
	<b>03</b> 精神科	<b>09</b> 眼科	<b>15</b> 歯科 (歯科口腔外科等含む)
	<b>04</b> 外科	<b>10</b> 耳鼻咽喉科	<b>16</b> 全科
	<b>05</b> 整形外科	<b>11</b> 皮膚科	<b>17</b> その他
	<b>06</b> 脳神経外科	<b>12</b> 泌尿器科	
<b>2 入院基本料等</b> <small>(○は1つ)</small>	<b>01</b> 7 対 1 一般病棟入院基本料	<b>04</b> 10 対 1 特定機能病院入院基本料 (一般病棟)	
	<b>02</b> 10 対 1 一般病棟入院基本料	<b>05</b> 7 対 1 専門病院入院基本料	
	<b>03</b> 7 対 1 特定機能病院入院基本料 (一般病棟)	<b>06</b> 10 対 1 専門病院入院基本料	

**問 2 貴病棟の基本情報についてお伺いします。**

1 貴病棟の届出病床数	床
-------------	---

2 貴病棟での 90 日を超えて入院する患者の取扱い (○は1つ)	
<b>01</b> 90 日超は出来高算定で平均在院日数の計算対象	<b>02</b> 90 日超は療養病棟と同等の報酬体系
「02 90 日超は療養病棟と同等の報酬体系」である場合、平成 27 年 9 月 30 日までの間、出来高算定が可能な病床数 (2 室 4 床まで) を記入してください。 ※該当する病床がない場合は、「0」を記入してください。	
貴病棟で H27.9.30 まで出来高算定が可能な病床数	床

3 貴病棟に配置されている職員数 (専従換算)			
① 看護師	. 人	⑦ 作業療法士	. 人
② 准看護師	. 人	⑧ 言語聴覚士	. 人
③ 看護補助者	. 人	⑨ 臨床心理技術者	. 人
(うち) 介護福祉士	. 人	⑩ 相談員	. 人
④ 薬剤師	. 人	(うち) 社会福祉士	. 人
⑤ 管理栄養士	. 人	⑪ 事務職員	. 人
⑥ 理学療法士	. 人	⑫ その他の職員	. 人

**4 貴病棟に配置されている専従/専任の退院支援職員について** (○は1つ)

**01** 退院支援の専従/専任の職員がいる **02** 退院支援の専従/専任の職員はいない

「01」を選択した場合、従事する職員数を記入してください。(数字を記入)

貴病棟における退院支援	専 従	専 任
① 看護師	人	人
② 准看護師	人	人
③ 相談員	人	人
(うち) 社会福祉士	人	人
④ その他の職種	人	人
[再掲] ケアマネジャー(介護支援専門員)の資格を有する者	人	人

「01」を選択した場合、いなかった場合と比べて該当職員がいることによってもたらされている効果等を選択してください。(該当するものに○)

- 01 より早期に退院支援を行う患者を病棟で抽出・関与できるようになった
- 02 より多くの患者に対して退院支援を行えるようになった
- 03 患者及び家族への説明や面会の頻度を増やすことができた
- 04 早期退院に向けた多職種カンファレンスの開催頻度を増やすことができた
- 05 退院支援計画の作成が滞りなく行えるようになった
- 06 その他 ( \_\_\_\_\_ )

退院支援で困難等を感じる点を選択してください。(該当するものに○)

- 01 退院支援を行う患者を病棟で抽出することが難しい
- 02 全ての患者に対して退院支援を行うことは難しい
- 03 患者1人当たりの退院調整に十分な時間を割くことができない
- 04 退院支援を開始するタイミングが遅れてしまっていることが多い
- 05 退院支援室等との情報共有が十分でないことが多い
- 06 患者・家族と面会日等を調整することが難しい
- 07 患者・家族に退院後の介護サービス等の内容を伝えることが難しい
- 08 他の医療機関・施設との顔の見える関係を構築するのが難しい
- 09 その他 ( \_\_\_\_\_ )

**5 「ADL維持向上等体制加算」の届出について** (○は1つ)

**01** 現に届出ている **02** 届出していない

6-1 平均在院日数等 (H26.8~H26.10の3か月間)	平均在院日数	新入棟患者数	新退棟患者数
	日	人	人

6-2 在宅復帰率、重症者割合 (H26.8~H26.10の3か月間)	在宅復帰率	重症者割合 <sup>注1)</sup>
	%	%

注1) 「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」の基準 (A得点≥2点 かつ B得点≥3点) を満たす患者割合のことです。

<b>6 - 3 ADL 低下患者割合 及び 入院後褥瘡発生率</b>	
※「ADL維持向上等体制加算」の施設基準を届出ている場合は、届出時の数値も可とします。	
① ADL 低下患者割合 <sup>注1</sup> (H26.8~H26.10 の 3 か月間)	%
② 入院後褥瘡発生率 <sup>注2</sup> (H26 年 11 月 5 日 (水) 時点)	%

注1) 平成 26 年 8 月から平成 26 年 10 月の間に、退院または転棟した患者（死亡退院を除く）のうち、退院または転棟時における ADL が入院時と比較して低下した患者の割合。

注2) 平成 26 年 11 月 5 日 (水) 時点において褥瘡を保有する患者数のうち入院時既に褥瘡保有が記録された患者を除いた患者数を、入院患者数（当日の入院は含めず、退院又は退院予定は含める）で除して求めた割合。

<b>7 貴病棟の入院患者数 (H26 年 11 月 5 日 (水) 時点)</b>		人
<b>7 - 1 年齢階級別の入院患者数の内訳</b>		
	該当の入院患者数	うち、長期入院(90 日超)
① 15 歳未満	人	人
② 15 歳以上 40 歳未満	人	人
③ 40 歳以上 65 歳未満	人	人
④ 65 歳以上 75 歳未満	人	人
⑤ 75 歳以上 85 歳未満	人	人
⑥ 85 歳以上	人	人
<b>7 - 2 入院日数別の入院患者数の内訳</b>		
	該当の入院患者数	うち、長期入院(90 日超)
① 入院後 15 日以内 (約半月以内)	人	/
② 16 日~30 日 (約半月~1 か月)	人	
③ 31 日~60 日 (約 1~2 か月)	人	
④ 61 日~90 日 (約 2~3 か月)	人	
⑤ 91 日~120 日 (約 3~4 か月)	人	
⑥ 121 日~150 日 (約 4~5 か月)	人	
⑦ 151 日~180 日 (約 5~6 か月)	人	
⑧ 入院後 181 日以上 (約 6 か月超)	人	
<b>7 - 3 特定除外の項目別の入院患者数の内訳</b>		
	該当の入院患者数	うち、長期入院(90 日超)
① 難病患者等入院診療加算を算定する患者	人	人
② 重症者等療養環境特別加算を算定する患者	人	人
③ 重度の肢体不自由者、脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者および難病患者等	人	人
④ 悪性新生物に対する治療を実施している状態	人	人
⑤ 観血的動脈圧測定を実施している状態	人	人
⑥ リハビリテーションを実施している状態 (入院日から起算して 180 日間に限る)	人	人
⑦ ドレーン法もしくは胸腔または腹腔の洗浄を実施している状態	人	人
⑧ 頻回に喀痰吸引・排出を実施している状態	人	人
⑨ 人工呼吸器を使用している状態	人	人
⑩ 人工腎臓、持続緩徐式血液濾過または血漿交換療法を実施している状態	人	人
⑪ 全身麻酔その他これに準ずる麻酔を用いる手術を実施し、当該疾病に係る治療を継続している状態 (当該手術日から 30 日間に限る)	人	人

7 - 4 疾患別の入院患者数 (H26年11月5日(水)時点)			
[1] スモン	人	[14] 脳梗塞	人
[2] 筋ジストロフィー	人	[15] 脳出血	人
[3] 多発性硬化症	人	[16] 無動症	人
[4] 筋萎縮性側索硬化症	人	[17] 悪性腫瘍	人
[5] パーキンソン病関連疾患	人	(うち) 疼痛コントロールが必要	人
[6] その他の難病	人	(うち) 余命3か月以内	人
(うち) 神経系	人	[18] 心不全(高度非代償性)	人
(うち) 神経系以外	人	[19] 心筋梗塞	人
[7] 脊髄損傷	人	[20] 肝不全(腹水高度、NH4CL120mg/dl以上)	人
[8] 脳性麻痺	人	[21] 髄膜炎	人
[9] 片麻痺	人	[22] 肺血栓塞栓症	人
[10] 四肢麻痺	人	[23] 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	人
[11] 播種性血管内凝固症候群(DIC)	人	[24] 肺炎	人
[12] 敗血症	人	[25] 喘息重積発作	人
[13] 急性腹症	人	[26] 尿路感染症	人
		[27] 骨折・外傷	人

7 - 5 状態別の入院患者数 (H26年11月5日(水)時点)			
① 医師及び看護師による常時監視・管理	人	⑥ 鬱状態	人
② 感染隔離室における管理	人	⑦ 体内出血	人
③ 意識障害	人	⑧ 脱水(発熱あり)	人
(うち) JCS II-3以上又はGCS 8点以下	人	⑨ 頻回の嘔吐(発熱あり)	人
(うち) JCS III-100以上	人	⑩ 褥瘡(皮膚層の喪失又は複数箇所)	人
④ せん妄(術後)	人	⑪ 暴行	人
⑤ せん妄(術後以外)	人		

7 - 6 医療行為・処置等別の入院患者数（H26年11月5日（水）時点）			
[1] 人工呼吸器の使用	人	[17] 手術	人
[2] 人工呼吸器の抜管後1週間以内	人	（うち）開頭術	人
[3] 気管切開・気管内挿管	人	（うち）開胸術	人
（うち）発熱あり	人	（うち）開腹術	人
（うち）発熱なし	人	（うち）骨の観血的手術	人
[4] 酸素療法	人	（うち）胸腔鏡・腹腔鏡を用いた手術	人
[5] ドレーン法	人	（うち）その他の手術	人
（うち）脳室・脳槽・脊椎くも膜下腔	人	[18] 膀胱カテーテル	人
（うち）胸腔・腹腔・胆道	人	（うち）血尿あり	人
（うち）関節腔	人	（うち）血尿なし	人
（うち）皮下・硬膜下	人	[19] 末梢循環障害による下肢末端開放創	人
[6] 喀痰吸引（1日8回以上）	人	[20] 創傷処置（皮膚潰瘍・手術創・創傷）	人
[7] 体位ドレナージ・スクウィーミング	人	（うち）難治性皮膚潰瘍	人
[8] 観血的動脈圧測定	人	（うち）手術創	人
[9] カテーテル検査・治療（動脈穿刺）	人	（うち）手術創以外の創傷	人
[10] 血漿交換療法	人	[21] 褥瘡処置	人
[11] 血栓溶解療法（t-PA療法）	人	[22] 中心静脈栄養	人
[12] 内視鏡検査・治療（粘膜切除）	人	[23] 経管栄養（発熱又は嘔吐あり）	人
[13] 24時間持続点滴	人	[24] 胃瘻（減圧のため開放中）	人
[14] 透析	人	[25] 胃瘻（閉鎖中）	人
[15] 血糖測定（1日3回以上）	人	[26] 身体抑制*	人
[16] 胸腹腔洗浄	人		

※身体抑制：「四肢、体幹部の抑制」、「ベッドを柵で囲い込む」、「介護衣の着用」、「車いすや椅子から立ち上がれないようにする」、「ミットの着用」、「自分の意思で開けることの出来ない居室等への隔離」。

7 - 7 入院前の居場所別の入院患者数（H26年11月5日（水）時点）	
① 自宅	人
② 他の医療機関	人
③ 介護療養型医療施設	人
④ 介護老人保健施設	人
⑤ 介護老人福祉施設（特養）	人
⑥ 居住系介護施設（グループホーム、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等）	人
⑦ 障害者支援施設	人
⑧ その他	人

7 - 8 転棟状況別の入院患者数（H26年11月5日（水）時点）	
① 転棟していない	人
② 自院の急性期病床から転棟	人
③ 自院の地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の病床から転棟	人
④ 自院の療養病床から転棟	人
⑤ 自院のその他の病床から転棟	人

問3 貴病棟の退棟患者数についてお伺いします。

1 入院前の居場所別 及び 退棟先別の退棟患者数 (H26.10の1か月間)	《 入 院 前 の 居 場 所 》				
	自宅	他の医療機関	介護保険施設	居宅系介護施設	その他
① 退棟患者数の合計	人	人	人	人	人
■ 自宅 (在宅医療の提供あり)	人	人	人	人	人
■ 自宅 (在宅医療の提供なし)	人	人	人	人	人
■ 自院の急性期病床	人	人	人	人	人
■ 自院の地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の病床	人	人	人	人	人
■ 自院の療養病床	人	人	人	人	人
■ 自院のその他の病床	人	人	人	人	人
■ 他の医療機関の急性期病床	人	人	人	人	人
■ 他の医療機関の地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の病床	人	人	人	人	人
■ 他の医療機関の療養病床 (在宅復帰機能強化加算を届出)	人	人	人	人	人
■ 他の医療機関の療養病床 (上記以外の療養病床)	人	人	人	人	人
■ 他の医療機関のその他の病床	人	人	人	人	人
■ 介護療養型医療施設	人	人	人	人	人
■ 介護老人保健施設 (在宅強化型、在宅復帰・在宅療養支援機能加算を届出)	人	人	人	人	人
■ 介護老人保健施設 (上記以外の老健施設)	人	人	人	人	人
■ 介護老人福祉施設 (特養)	人	人	人	人	人
■ 居住系介護施設 (グループホーム、有料老人ホーム等)	人	人	人	人	人
■ 障害者支援施設	人	人	人	人	人
■ 死亡退院	人	人	人	人	人
■ その他	人	人	人	人	人

設問は以上です。ご協力 誠にありがとうございます。  
 記入漏れがないかをご確認の上、平成26年12月26日(金)までに、  
 同封の返信用封筒に入れてご投函ください。